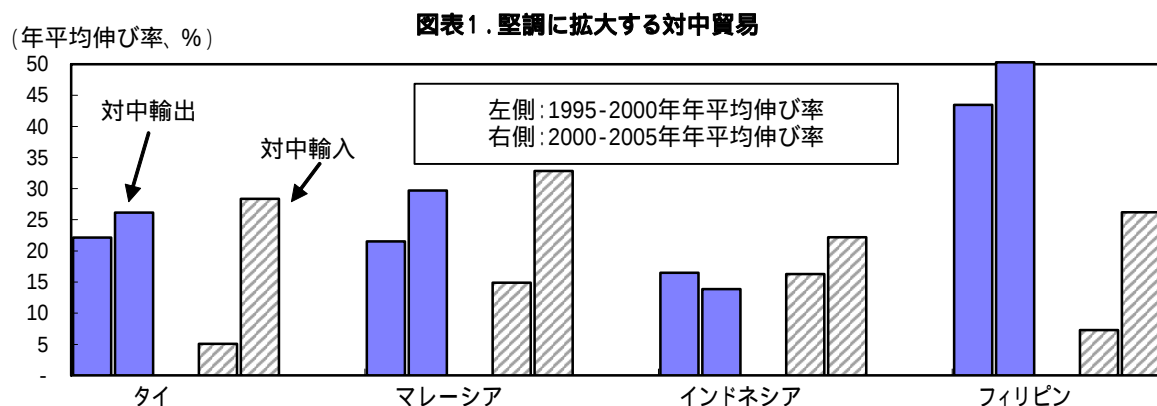


2006 年 3 月 24 日

チャイナ・チャレンジ～中国との共存共栄に挑む ASEAN 諸国～

堅調に拡大する ASEAN・中国間の貿易

- ・ 強大な供給力を有する中国の台頭は ASEAN 諸国にとって大きな脅威となっている。一方で、巨大な中国市場は ASEAN 諸国にとって大きなビジネス・チャンスでもある。実際、ASEAN 4（タイ、マレーシア、インドネシア、フィリピン）と中国の間の貿易は堅調に拡大している。図表 1 は ASEAN 4 各国の対中輸出入の伸び率を 90 年代後半（1995 年～2000 年）と 2000 年代前半（2000 年～2005 年）に分けて比較したもののだが、インドネシアの対中輸出の伸び率が 2000 年代前半にやや鈍化した以外は総じて対中輸出入とも伸び率が高まっており、両者間の貿易が堅調に拡大していることがわかる。



(出所) CEIC (注) データは各国とも中国の貿易統計に拠る。以下の図表も同様。

水平分業化傾向の進展の一方で着実に強まる中国の競争上の優位性

- ・ 次に ASEAN と中国の競合関係を相互の輸出入の伸び率の比較から推測する先行研究の分析手法（大西康雄編「中国・ASEAN 経済関係の新展開」第 2 章、アジア経済研究所刊）を踏襲し改めて検証してみた（図表 2）。中国の貿易統計（HS 分類 16 品目）を用いて、95 年から 2005 年までの ASEAN 4 の品目別対中輸出入の伸び率を 90 年代後半と 2000 年代前半に分けてみたのが次頁の図表 3 である。

図表 2. 相互の輸出入の伸び率からみた ASEAN と中国の競合関係についての 6 分類

ASEAN 攻勢型	対中輸出の伸び率がプラスで対中輸入の伸び率がマイナスのケース。
ASEAN 優位共存型	対中輸出・輸入とも伸び率はプラスだが対中輸出の伸び率の方が高いケース。
中国優位共存型	対中輸出・輸入とも伸び率はプラスだが対中輸入の伸び率の方が高いケース。
ASEAN 優位共倒れ型	対中輸出・輸入とも伸び率はマイナスだが対中輸出のマイナス幅の方が小さいケース。
中国優位共倒れ型	対中輸出・輸入とも伸び率はマイナスだが対中輸入のマイナス幅の方が小さいケース。
中国攻勢型	対中輸出の伸び率がマイナスで対中輸入の伸び率がプラスのケース。

(出所) 大西康雄編「中国・ASEAN 経済関係の新展開」(アジア経済研究所刊) の分類を踏襲。

(注) 原典では「ASEAN 優位共栄型」ないし「中国優位共栄型」となっているが、ここではいずれも「共存型」とした。

- ・ これを見ると、対中輸出入伸び率ともプラスの共存型（図表2のASEAN優位共存型、中国優位共存型）の品目数が90年代後半の16品目中12品目から2000年代前半14品目に増加し、前述の先行研究で指摘されているようにASEAN4・中国間の水平分業傾向が進展していることがうかがえる。
- ・ しかし、同時に中国の競争上の優位性を示す中国攻勢型と中国優位共存型の品目数が90年代後半の3品目から2000年代前半には10品目に大幅に増加しており、一見、水平分業化傾向が進んでいるように見えて、同時に圧倒的な供給力を背景に中国が着実にASEAN市場での地歩を固めていることも示唆されている。

図表3. 相互の輸出入伸び率からみたASEAN4と中国の競合関係

ASEAN4(タイ、マレーシア、インドネシア、フィリピン)合計						
	1995-2000年年平均伸び率(%)		(共存品目:12品目) (中国優位品目:3品目)	2000-2005年年平均伸び率(%)		(共存品目:14品目) (中国優位品目:10品目)
	対中輸出	対中輸入		対中輸出	対中輸入	
生きた動物類	15.7	11.5	ASEAN優位共存型	3.3	23.5	中国優位共存型
野菜類	-6.9	18.5	中国攻勢型	24.8	5.4	ASEAN優位共存型
食品飲料タバコ	-26.2	-13.1	中国優位共倒れ型	11.1	18.5	中国優位共存型
鉱物製品	13.7	15.4	ASEAN優位共存型	14.5	30.0	中国優位共存型
化学製品	26.6	6.5	ASEAN優位共存型	24.9	21.8	ASEAN優位共存型
皮革原材料	12.1	0.3	ASEAN優位共存型	13.8	17.6	中国優位共存型
木製品	7.5	-1.3	ASEAN攻勢型	-3.3	28.4	中国攻勢型
パルプ紙類	40.1	1.1	ASEAN優位共存型	-1.4	23.9	中国攻勢型
繊維・繊維製品	6.4	16.1	中国優位共存型	9.6	20.2	中国優位共存型
靴・傘類	29.4	23.3	ASEAN優位共存型	31.1	19.5	ASEAN優位共存型
セメント・ガラス類	18.4	10.9	ASEAN優位共存型	13.2	26.5	中国優位共存型
ベースメタル	33.9	-8.2	ASEAN攻勢型	20.6	38.3	中国優位共存型
一般機械・電気機器	65.6	26.4	ASEAN優位共存型	41.3	30.5	ASEAN優位共存型
輸送機械	20.7	8.0	ASEAN優位共存型	39.2	17.9	ASEAN優位共存型
光学機器類	87.4	16.9	ASEAN優位共存型	40.1	52.8	中国優位共存型
雑製品	11.1	14.1	中国優位共存型	36.0	19.7	ASEAN優位共存型

(出所)CEIC

(注)競合関係の分類は図表2同様、大西康雄編「中国・ASEAN経済関係の新展開」を踏襲。

共存関係を維持するタイ・インドネシアと中国に押され気味のマレーシア・フィリピン

- ・ 同様の分析を4カ国それぞれについて行った結果が次頁の図表4である。これを見ると、いずれの国でも共存型の品目が増えており、中国との水平分業傾向が進展していることがわかる。
- ・ しかし、中国の比較優位を示す「中国攻勢型」と「中国優位共存型」の品目数は、マレーシアで6品目から11品目に、フィリピンで7品目から10品目に増加し、これら両国では水平分業化傾向とはいえ、中国製品に押され気味であることが推測される。
- ・ これに対して、タイ、インドネシアでは「中国攻勢型」と「中国優位共存型」の品目数は、両国とも足元でも7品目にとどまっており、水平分業化の中で共存共栄関係が維持されていることが示唆されている。

図表4. ASEAN4カ国各国別にみた中国との競合関係

タイ						
	対中輸出	対中輸入		対中輸出	対中輸入	
生きた動物類	19.3	-5.1	ASEAN攻勢型	0.3	38.4	中国優位共存型
野菜類	-11.9	9.8	中国攻勢型	31.4	24.1	ASEAN優位共存型
食品飲料タバコ	-36.1	19.5	中国攻勢型	14.1	13.7	ASEAN優位共存型
鉱物製品	106.9	23.1	ASEAN優位共存型	16.0	-14.4	ASEAN攻勢型
化学製品	17.3	3.3	ASEAN優位共存型	32.3	22.8	ASEAN優位共存型
皮革原材料	10.4	-17.8	ASEAN攻勢型	17.7	14.1	ASEAN優位共存型
木製品	40.6	-13.3	ASEAN攻勢型	21.9	53.3	中国優位共存型
パルプ紙類	50.9	-6.0	ASEAN攻勢型	-6.9	33.3	中国攻勢型
繊維・繊維製品	-0.2	7.8	中国攻勢型	20.1	13.9	ASEAN優位共存型
靴・傘類	18.8	13.4	ASEAN優位共存型	42.7	21.7	ASEAN優位共存型
セメント・ガラス類	7.8	-7.8	ASEAN攻勢型	15.7	49.6	中国優位共存型
ベースメタル	42.4	-15.4	ASEAN攻勢型	16.7	46.3	中国優位共存型
一般機械・電気機器	63.5	28.8	ASEAN優位共存型	35.2	30.6	ASEAN優位共存型
輸送機械	34.6	-16.2	ASEAN攻勢型	51.7	13.7	ASEAN優位共存型
光学機器類	74.6	13.3	ASEAN優位共存型	25.3	36.5	中国優位共存型
雑製品	6.3	1.0	ASEAN優位共存型	25.1	27.1	中国優位共存型
マレーシア						
	対中輸出	対中輸入		対中輸出	対中輸入	
生きた動物類	20.4	21.1	中国優位共存型	-1.9	13.7	中国攻勢型
野菜類	3.4	29.3	中国優位共存型	11.6	3.9	ASEAN優位共存型
食品飲料タバコ	-18.8	-5.8	中国優位共倒れ型	29.8	24.6	ASEAN優位共存型
鉱物製品	29.0	-2.3	ASEAN攻勢型	6.8	54.7	中国優位共存型
化学製品	46.0	5.6	ASEAN優位共存型	25.2	20.6	ASEAN優位共存型
皮革原材料	41.0	22.7	ASEAN優位共存型	-30.4	30.8	中国攻勢型
木製品	5.8	12.1	中国優位共存型	-3.9	17.2	中国攻勢型
パルプ紙類	28.7	-4.6	ASEAN攻勢型	10.0	19.7	中国優位共存型
繊維・繊維製品	2.3	17.0	中国優位共存型	4.5	24.6	中国優位共存型
靴・傘類	-6.5	20.8	中国攻勢型	46.4	21.2	ASEAN優位共存型
セメント・ガラス類	49.8	19.4	ASEAN優位共存型	11.8	23.2	中国優位共存型
ベースメタル	41.6	-7.1	ASEAN攻勢型	11.4	34.8	中国優位共存型
一般機械・電気機器	56.6	29.2	ASEAN優位共存型	37.9	37.1	ASEAN優位共存型
輸送機械	17.6	12.1	ASEAN優位共存型	10.0	47.9	中国優位共存型
光学機器類	99.6	7.1	ASEAN優位共存型	30.5	77.1	中国優位共存型
雑製品	26.0	13.9	ASEAN優位共存型	20.9	23.8	中国優位共存型
インドネシア						
	対中輸出	対中輸入		対中輸出	対中輸入	
生きた動物類	9.7	12.0	中国優位共存型	9.1	13.2	中国優位共存型
野菜類	-5.8	10.5	中国攻勢型	17.4	0.5	ASEAN優位共存型
食品飲料タバコ	8.7	-8.5	ASEAN攻勢型	-2.6	12.4	中国攻勢型
鉱物製品	7.6	19.2	中国優位共存型	15.6	39.4	中国優位共存型
化学製品	21.5	10.7	ASEAN優位共存型	21.6	20.4	ASEAN優位共存型
皮革原材料	7.9	51.2	中国優位共存型	16.4	11.4	ASEAN優位共存型
木製品	7.0	-0.3	ASEAN攻勢型	-9.8	18.8	中国攻勢型
パルプ紙類	38.8	5.8	ASEAN優位共存型	-0.8	30.8	中国攻勢型
繊維・繊維製品	17.6	31.9	中国優位共存型	1.8	20.5	中国優位共存型
靴・傘類	38.7	30.2	ASEAN優位共存型	25.3	15.3	ASEAN優位共存型
セメント・ガラス類	19.7	13.3	ASEAN優位共存型	12.9	25.7	中国優位共存型
ベースメタル	5.4	-0.2	ASEAN攻勢型	49.1	33.6	ASEAN優位共存型
一般機械・電気機器	71.0	21.1	ASEAN優位共存型	29.7	20.9	ASEAN優位共存型
輸送機械	22.2	50.7	中国優位共存型	83.6	6.8	ASEAN優位共存型
光学機器類	97.2	39.8	ASEAN優位共存型	55.9	31.6	ASEAN優位共存型
雑製品	6.3	22.2	中国優位共存型	36.5	14.3	ASEAN優位共存型
フィリピン						
	対中輸出	対中輸入		対中輸出	対中輸入	
生きた動物類	0.4	49.0	中国優位共存型	20.2	33.9	中国優位共存型
野菜類	22.3	21.7	ASEAN優位共存型	4.3	7.8	中国優位共存型
食品飲料タバコ	3.5	-28.1	ASEAN攻勢型	6.3	20.3	中国優位共存型
鉱物製品	-12.7	3.2	中国攻勢型	23.3	23.9	中国優位共存型
化学製品	53.7	6.4	ASEAN優位共存型	8.6	25.2	中国優位共存型
皮革原材料	-20.0	35.1	中国攻勢型	12.6	12.8	中国優位共存型
木製品	-38.6	-10.0	中国優位共倒れ型	65.1	32.9	ASEAN優位共存型
パルプ紙類	45.4	22.6	ASEAN優位共存型	-1.1	14.7	中国攻勢型
繊維・繊維製品	-5.9	12.8	中国攻勢型	27.5	21.4	ASEAN優位共存型
靴・傘類	122.1	24.2	ASEAN優位共存型	-12.3	20.8	中国攻勢型
セメント・ガラス類	1.9	13.3	中国優位共存型	1.6	15.3	中国優位共存型
ベースメタル	39.3	-6.0	ASEAN攻勢型	19.5	36.4	中国優位共存型
一般機械・電気機器	123.3	27.2	ASEAN優位共存型	56.1	29.3	ASEAN優位共存型
輸送機械	-8.9	3.2	中国攻勢型	107.2	42.3	ASEAN優位共存型
光学機器類	110.9	18.7	ASEAN優位共存型	74.8	45.7	ASEAN優位共存型
雑製品	-21.4	17.8	中国攻勢型	133.1	15.4	ASEAN優位共存型

(出所)CEIC

(注)競合関係の分類は図表2同様、大西康雄編「中国・ASEAN経済関係の新展開」を踏襲。

中国の消費市場高度化への対応に活路

- ・ ところで、タイ・インドネシアの野菜類やタイ・フィリピンの繊維・繊維製品、マレーシアの靴・傘類、フィリピンの雑製品など 90 年代後半には「中国攻勢型」と分類されていたが、2000 年代前半に「ASEAN 優位共存型」に転じている品目があることが注目される。いずれも中国の消費市場が高度化・多様化する中で、そうした中国市場の新しい需要、中国の消費者の新しい嗜好に対応していった結果ではないかと推測される。
- ・ 確かに中国の強大な供給力は脅威だが、経済発展とともに高度化・多様化する中国市場の需要への的確な対応の中に ASEAN と中国の共存共栄関係のひとつの解があるのではないだろうか。

(参考文献) 大西康雄編「中国・ASEAN 経済関係の新展開」アジア経済研究所 2006 年

調査部 野田麻里子(mariko.noda@murc.jp)